

子どもほっとライン 「もしもしにゃんこ」

<島根県内の18才までの子どもがかける子ども専用電話>
平成28年度実施報告

子ども自身が自分の意見を言うこと・聴いてもらうことは『子どもの権利条約』に掲げられている大事な権利です。この権利を保障し、一本の電話でつながる心の居場所として、県内の18歳以下のこどものための子ども専用電話「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」を2006年9月、松江市と浜田市に開設し、同年11月からフリーダイヤル化をしました。現在、松江市のみで開設し、毎週日曜日午後2時～6時にボランティアで対応しています。

子どもは、ここは安心だ！信頼できる！自分の気持ちを聴いてくれる人がいる！と思ったとき、自分の居場所と感じ、心を少しずつ開いて話してくれるのではないのでしょうか。また、話すことは自分で切り開いていく力を出すことができ、「話す」ということをきっかけに自ら歩みだすことができるのではないかと思います。顔の見えない相手（電話）だからこそ話せることもあります。

私たち聴き手（子どもの電話を受ける人）がもっとも大事にしていることは、「安心感と信頼感」を掛けてきた子どもに持ってもらい話してもらうこと、そして「聴ききる」ことです。

一本の電話でつながる心の居場所として、一期一会の気持ちで一本一本の電話を大切にしてい向き合う、それが「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」です。

☆28年度の状況☆

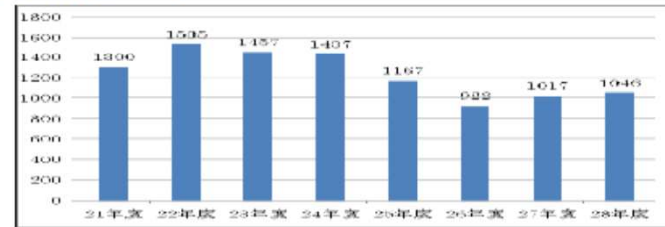
平成28年4月から平成29年3月まで、アクセス数は1,046本（前年1,017本）、接続数は717本（前年812本）でした。そのうち、実際に「聴き手」が電話で話したものは223本（前年156本）、総通話時間は1,409分、時間数にすると、約23.5時間でした。「ためし：すぐ切れた」ものも含んでおり単純に一本当たりの電話の平均は6分と短いものとなりますが、現場でのようすをみると10～20分程度がもっとも多く、1時間近くになったものもありました。

平成28年度開設状況	開設日	5月1日
	電話番号	0120-225-440
	開設日	毎週日曜日 午後2時～6時
★アクセス数	1,046件	着信数 717件
★聴き手と会話をした数	223件	延べ時間 1,409時間
★聴き手・サポートスタッフ	延べ155人	

☆アクセス数の推移☆

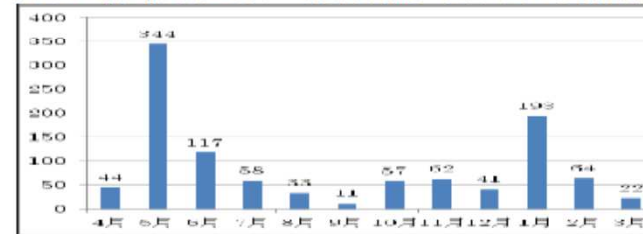
年間アクセス数の推移

フリーダイヤルを開設してからの全体数は13,411本にもなりました。この3年は平均1,000本くらいになっています。ひと月に1時間も電話をしないとする番組で若い世代の声データがあがっていました。電話をかける、そのこと自体がなくなってきている現代での「電話」のこれから、かんがえていく必要があると思います。



月別アクセス数

5月、周知のため一斉にカード配布をした関係で5月はアクセス数が伸びました。また、第2回目の配布を秋から順次行いましたので、2・3学期にもアクセスがありました。カードを配布すると確実にアクセス数が増えますので、カード配布、周知をこまめにしていく重要性を感じます。



☆電話の種類☆

携帯電話の所持率が増え、アクセス数が増加していましたが、日曜日だけの開設以後、固定電話からかかることが多くなり、今年度も固定電話からの通話が多かったようです。また数は少ないのですが公衆電話からのものがあります。少

